

☆「新しい教科書」と“スマホ”と“置き勉”…



▼ 生徒は（保護者も？）知らないかも知れませんが、昔『部屋と Y シャツと私』なんて歌が流行しましたが、そんな感じのタイトルで“徒然（つれづれ）なるままに”書いてみました。ご存じの通り？…来年度から小学校の教科書が変わります。中学校は再来年度からなので、現在1年生の皆さんは、3年生になると教科書が変わることになります。下図は、来年度から使用される小学校6年生の「音楽」の教科書のあるページです。

短調の和音

短調の和音

DC (始めから)

DC (始めから)

音の重なり 和音のひびき 調 縦と横との関係 31

6年 p.31

短調の和音

曲の紹介や短い動画などのコンテンツを閲覧できる、弊社のホームページに誘導します。

▼気が付きましたか？ 教科書に QR コードが付いています！ これをスマホやタブレットなどの情報機器で読み取ると、その楽譜に合わせてピアノやリコーダーが弾ける（吹ける）ように動画等の情報が見られるのです。「英語」の教科書では、QR コードにより、単語の発音を聞けたり、モデル対話の動画等が見られたりするそうです。もう、DVD や CD などを購入する必要がなくなっていくのでしょうか…。私は、4月の PTA 総会でも公言しましたが、日ごろから「お子さまにスマホを買い与えないでいただきたい！」なんて言っていたのですが、もうそんな時代ではないのでしょうか…複雑な思いです。さらに近い未来には、生徒はすべての教科書がデジタル化されインストールされた自分のタブレットだけを持って登下校するのでしょうか…。紙媒体の教科書はなくなり、タブレット一つで授業も家庭学習もできちゃう？ そうなると、ランドセルや通学カバンにたくさんの教科書を詰め込むこともなく、タブレットと数冊のノートだけを入れて登下校できちゃうのでしょうか…。もしかすると、タブレットに手書きで記録することができれば、ノートも要らなくなっちゃうの…？ 今、「重い重いランドセルや通学カバンが子どもの背骨や腰の発育に支障を与えている」なんて言われ、どこかの市議会でも問題視されているそうです。そこで、教科書や資料集などを学校に置いておいてもよいことにしようという動きが盛んになっています。すなわち“置き勉”というものです。しかし、デジタル教科書やデジタルノートを搭載したタブレットがあれば、“置き勉”について考える必要もないわけです。「あれっ、画面消えちゃった？」「おまえ、ちゃんと充電しておけよ！」「こいつ、休み時間に変なサイト見ているぞ！」…そんな生徒たちの会話が聞こえてきそうです。学校の未来は便利になるのか、面倒くさくなるのか…世の中の流れをしっかりと見守りたいと思います。